

稲沢市水道事業

いなざわの 水道かわら版

発行 愛知県稲沢市上下水道部 水道業務課
〒492-8271 稲沢市石橋六丁目82番地
TEL 0587(21)-2181 FAX 0587(23)-3217



稲沢市水道事業は
ISO9001を取得し、
品質の向上に努めています



下呂市を表敬訪問しました



水道事業について話す、山内登・下呂市長(左)と加藤錠司郎・稲沢市長(右)

愛知県内の11市1町などで構成される「尾張水道連絡協議会」の会長である加藤錠司郎・稲沢市長が、10月5日に、下呂市を表敬訪問しました。
下呂市金山町には同協議会の水源の一つである、「岩屋ダム」があります。ダム周辺の環境維持について下呂市に尽力していただいているおかげで、日々、良質で安定した水が供給されていることについて、感謝の意を伝えました。

クイズ

防寒の不完全な水道管が凍ったり破裂したりするのは、気温が何度以下のときでしょう。

- ① マイナス4℃ ② 0℃ ③ 5℃

プレゼントキャンペーン

正解者の中から抽選で10名様に「いなざわの水(500ml) 12本セット」をプレゼント



●応募方法 はがき・Eメール・FAXのいずれかに、クイズの答え、住所、氏名、性別、年齢、水道への意見等を記入の上、下記の応募先へ応募してください。

●応募締切 令和4年1月31日(消印有効)

●応募先 〒492-8271 稲沢市石橋六丁目82番地 稲沢市水道業務課 「いなざわの水かわら版プレゼント」係

●Eメール inazawamizu@city.inazawa.aichi.jp ●FAX 0587-23-3217

※抽選結果の発表は賞品の発送をもってかえさせていただきます。 ※ペットボトルはリサイクルしましょう。 ※本キャンペーンの応募を通じてお客様から提供いただいた個人情報は、抽選、当選者への賞品発送及び水道事業の参考とするために、個人を特定しない統計情報として利用いたします。

前号のクイズの答え ② 蒸発残留物 総勢178件の応募があり、当選者には賞品を発送いたしました。たくさんのご応募ありがとうございました。

冬に備えて

ID 1001292

夜の冷えこみにご注意

気温がマイナス4℃以下になりますと、防寒の不完全な水道管は凍ったり、破裂したりします。特に多いのは次のようなところですよ。

- ① 水道管がむき出しになっているところ
- ② 水道管が北向きにあるところ
- ③ 風あたりの強いところにある水道管



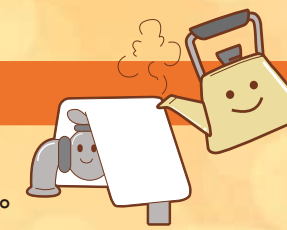
水道管が破裂したとき

まず、メーターボックス内の止水栓を閉めて水を止めます。そして、破裂した部分に布かテープを巻きつけて応急手当をしてから、**稲沢市指定給水装置工事事業者**へ修理をお申し込みください。

稲沢市指定給水装置工事事業者は、市のホームページをご確認いただくか、水道業務課(水道お客様窓口)までお問い合わせください。

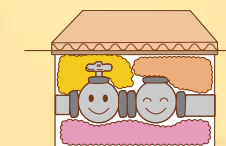
水道が凍って出ないとき

タオルをかぶせ、その上からゆっくりとぬるま湯をかけてときます。熱湯をかけると破裂やヒビ割れすることがありますので、ご注意ください。



防寒の仕方

- ① 保温材を巻きます。じゃ口が破裂しやすいので、絵のように完全に包んでください。
- ② 手近なものとして、毛布、布などを利用してください。なお、これらがぬれないように、上からビニールなどを巻いてください。
- ③ メーターボックスの中に使い古しの毛布や布切れなどを入れ、メーターボックスの上にダンボールなどをのせて保温してください。



プレゼントキャンペーンに寄せられた質問にお答えします

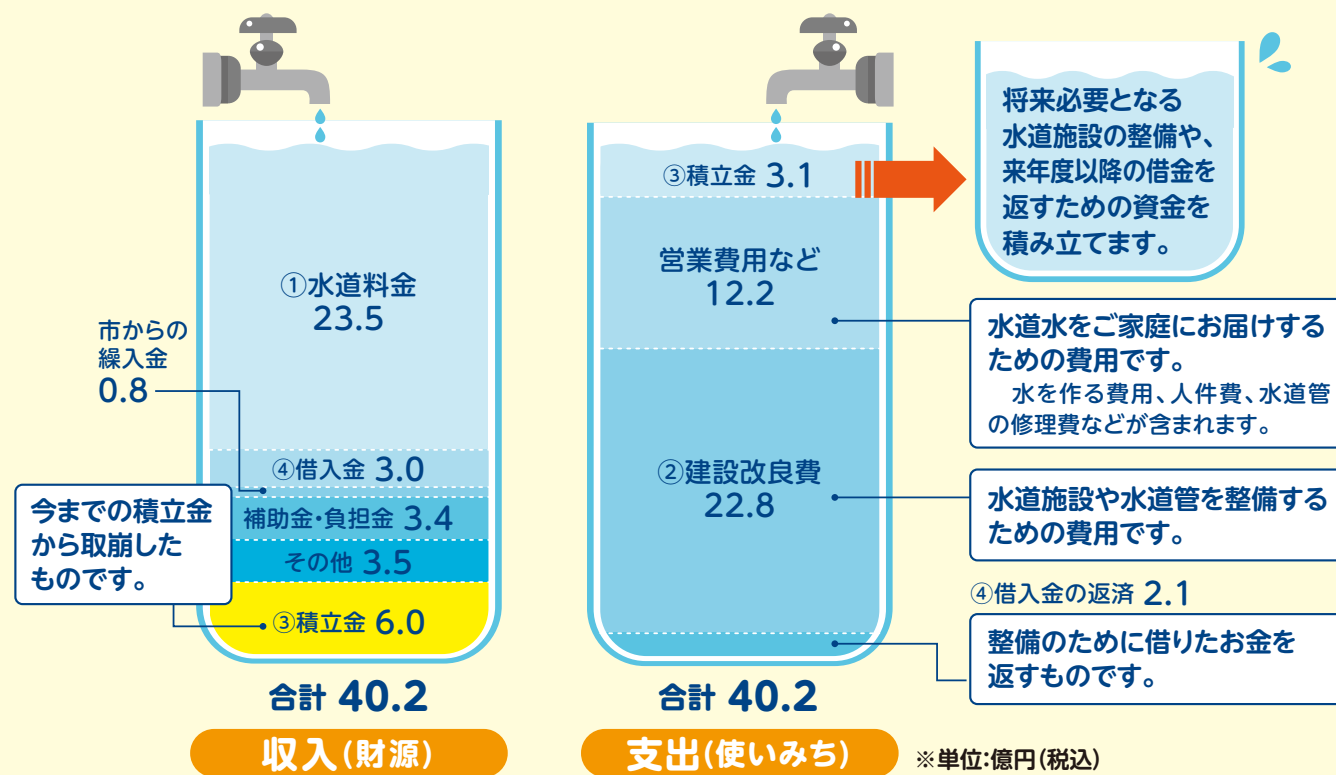
Q 浄水場や配水場はどれくらいの地震まで耐えられるのでしょうか

A 稲沢市では最大震度7程度の地震に耐えられるよう、水道施設の耐震化を行っています。

Q 「いなざわの水」は市販されていますか

A 市販はしていませんが、水道週間(毎年6月実施)や市主催イベント等で、稲沢市水道事業のPRとして配布しています。

令和2年度収支はこのようになりました

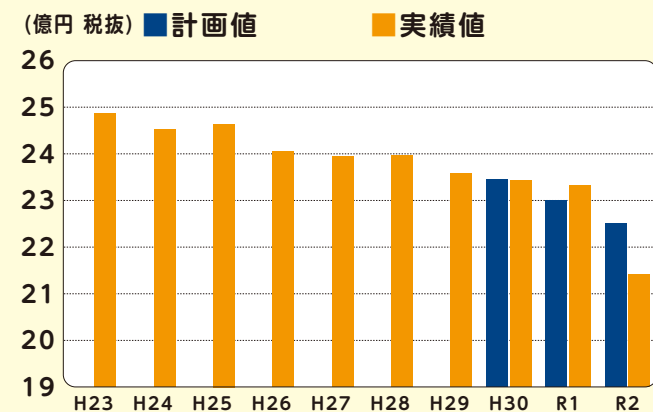


①から④の項目について、今までの推移をグラフで表しました

平成30年度からは水道ビジョンの計画値と比較しています

※稲沢市水道ビジョン…平成30年度から令和9年度までの将来の方向性や方策を具体的に示した計画

①水道料金

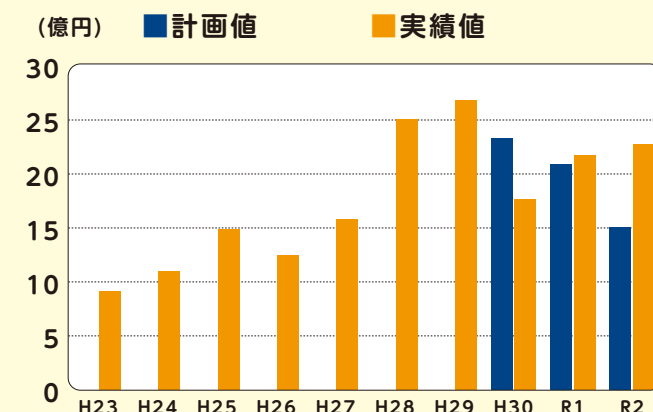


水道料金収入は減少傾向にあります。その原因は人口減少のほか、節水意識の浸透や節水器具の普及によるものです。

この傾向は稲沢市だけでなく、全国的に同様で、今後も続く見通しです。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い基本料金を免除したため、約2億円の減収となりました。

②建設改良費



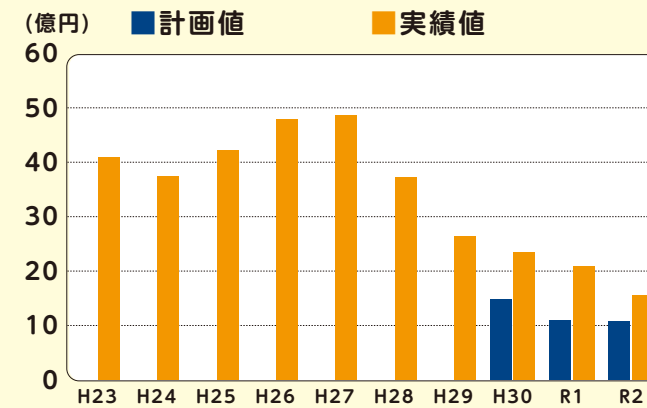
平成23年度から耐震化工事を行っています。

平成28年度からは重要な管路の工事が始まったため、設備投資が増えています。

水道ビジョンの計画値と異なるのは工事の一部を2年に渡って施工しているためです。

工事の進捗状況はほぼ計画とおりです。

③積立金

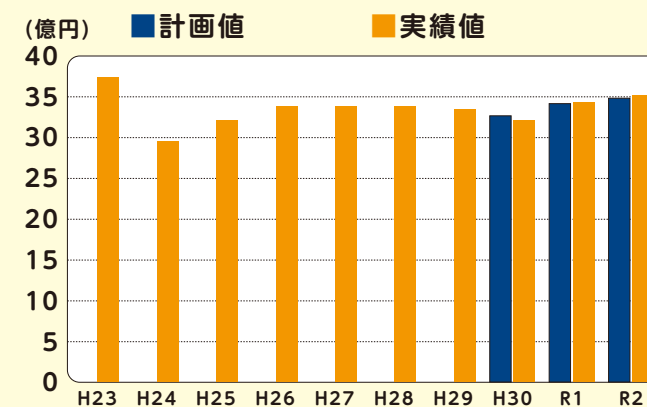


今までに積み立てた利益を水道施設の整備に使っています。

耐震化事業に積立金を使っているため、年々積立金は減っています。

水道ビジョンの計画値では令和6年度に約4億円と最小になる見込みですが、計画より良好に推移しています。

④借入金



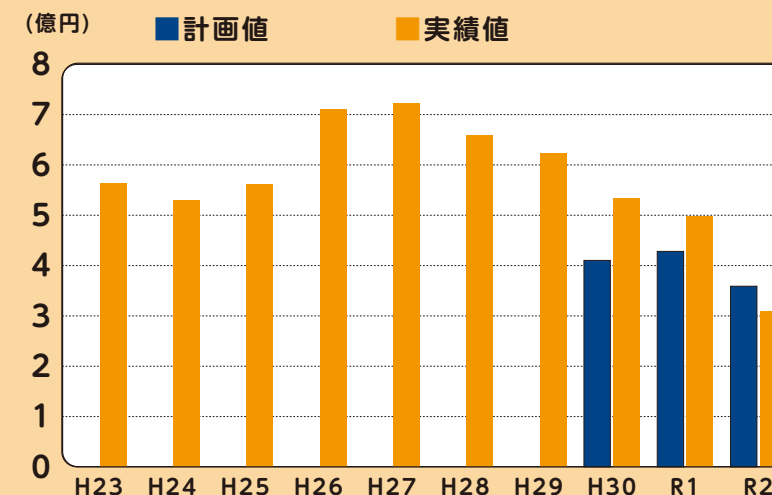
耐震化事業には積立金を優先的に使っているため、借入金の残高はあまり増えていません。

今後は積立金で賄えなくなるので、借入額が増加します。

水道ビジョンの計画値では、令和9年度の借入金残高が約44億円になる見込みで、計画どおり推移しています。

稲沢市水道事業の経営状況は良好です

純利益



純利益は順調に推移しており、毎年黒字となっています。水道ビジョンの計画値よりも良好な経営状況で推移しています。

※令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響に伴い基本料金を免除したため、純利益が約2億円減少しています。



©稲沢市 いなっぴー

令和8年度に耐震化事業が終了した後は、老朽化の進む管路の更新に重点を移して事業を進めていきます。

安定した水道事業を継続していくために、長期的な財政計画に基づき常に進捗を管理し、効率的な経営に努めます。

いなざわの水道 50周年を迎えました

稲沢中島水道企業団が発足して、令和3年で50年が経ちました。
これまでのあゆみを紹介します。



昭和
46年
10月

稲沢中島水道企業団 発足
旧稲沢市、祖父江町及び
平和町に給水開始

昭和
48年
3月

石橋浄水場
竣工

昭和
51年
7月

県営水道
受水開始

昭和
53年
3月

事業区域内
全域給水開始

昭和
54年
3月

祖父江配水場
竣工

昭和
62年
8月

五郷水源地
運用休止

昭和
63年
3月

石橋第二
浄水場
竣工

昭和
63年
4月

水道料金調定・
収納業務漢字化
システム稼働

平成
5年
12月

稲沢水源地
運用休止

平成
6年
7月

全国的な大湯水
節水対策

平成
7年
2月

兵庫県西宮市へ
災害派遣（応急給水活動）
平成7年1月
阪神・淡路大震災

平成
10年
3月

祖父江配水場
緊急遮断弁設置

平成
10年
9月

自動検針
（ハンディターミナル）
の導入

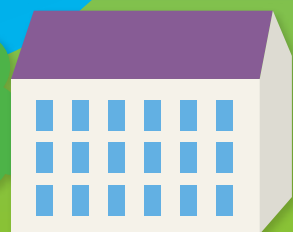
平成
14年
4月

稲沢中島広域
事務組合発足
（水道・消防・衛生）

平成
16年
2月

ISO9001 認証取得
水道事業として全国2番目

裏面に続く▼



◀表面から続き

平成
17年
4月

稲沢市
水道事業
発足
一市二町合併



平成
19年
3月

石橋浄水場・祖父江配水場
テレビ監視システムの完成



平成
20年
3月

稲沢市水道
ビジョン
(第1期)公表

平成
20年
11月

バイオアッセイ装置 設置
稲沢市上下水道工事指定
店協同組合より寄贈

平成
23年
3月

宮城県東松島市・
石巻市へ災害派遣
(応急給水活動)
平成23年3月
東日本大震災



平成
24年
7月

ボトルド
ウォーター
製造



平成
26年
12月

祖父江配水場
配水池耐震補強
工事完了

平成
27年
3月

石橋浄水場
太陽光発電
設備設置

平成
27年
10月

「いなざわの水道
かわら版」
創刊号発行



平成
28年
4月

応急給水栓
設置開始



平成
30年
3月

稲沢市水道
ビジョン(第2期)
公表

平成
30年
3月

石橋浄水場
(ポンプ棟上部)
太陽光発電設備
(2基目)設置

令和
2年
2月

石橋浄水場
耐震化工事完了

令和
2年
7月

基本料金(準備料金)
免除
新型コロナウイルス
感染症対応(7月~10月)

